


さずなすけっち

まいばら  親子の絆プロジェクト

市ではその「親」と「子」の絆、そして社会全体で絆が育まれるまちをめざし、64件の事業に取り組んでいます。みなさんも日常の身近なできごとの中で「絆」を再発見してみたいはかがででしょうか。

親子の絆を再確認 水源の里 まいばら Oyako ギャラリー



7月16日に米原駅Oyakoギャラリーがオープン。「かけがえのないもの」をテーマに、写真家のブルース・オズボーンさんが撮影された市内20組の生き生きした親子の写真などが展示されています。8月7日には、まいばらふるさと大使の尾木直樹さんもギャラリーを鑑賞されました。

この米原駅のギャラリーがたくさんの人とふるさとをつなぐ交差点になることを期待したいですね。

出産時の感動を親子でいつまでも・・・ 米原市出産お祝い メッセージカード

出生届受付時に、新しい命の誕生のお祝いとお子さんの健やかな成長を願って、市長からのお祝いメッセージを記したカードを6月から交付しています。

出生届を提出されていた堀部圭一さんにお伺いしたところ、「生まれた時の感動をこのカードに残します。そして、子どもが大きくなった際に、この時の感動を振り返りたいと思います」とのこと。

このカードは母子手帳に収まる便利なサイズです。新しい親子の絆の育みにお役立てください。



学び舎に人あり、校歌に地域あり・・・ 伊吹テレビで校歌をうたおう

校歌を通じて愛郷心や地域の絆を育んでいこうと、伊吹山テレビで「校歌をうたおう」の放送がスタートしました。第1回目の舞台となったのは、米原小学校。6月14日の全校朝礼で児童367人が地元出身のミュージシャン岡田兄弟とともに、元気な声で校歌を歌ってくれました。

今後、市内の小中学校を順に訪問しますので、思い出の詰まった母校の校歌がテレビから流れてくることを楽しみにしてください。

絆事業に関するお問い合わせ 政策調整課（米原庁舎） ☎52-6626 📠52-5195